

森のエネルギー 循環型エネルギーで地球温暖化防止



木質ペレット



薪ストーブの循環型ペレットストーブ



薪ストーブの循環型



薪ストーブの循環型

木材は循環エネルギー

国土の3分の2が森林におおわれている日本には、森林バイオマス資源が豊富にあります。

現在の、化石燃料中心の生活では、二酸化炭素の増加により地球温暖化がますます進んでしまう恐れがあります。

木を燃料として燃やせば、二酸化炭素は放出されますが、樹木が再生される限り光合成により再度吸収されるので、二酸化炭素を増やすことにはなりません。

ペレットストーブ

ペレットストーブとは、オガクズ（のこぎりくず）を圧縮して作った1cm程度の固形物「木質ペレット」を燃料としたストーブで、長野県では信州型ペレットストーブの開発に取り組んでいます。

佐久地域でも、長野県から委託を受けた、軽井沢町の鐵器（くろがね）工房が、新たに信州型ペレットストーブの開発に取り組んでいます。

地球温暖化の防止

薪ストーブやペレットストーブからは、やわらかな赤い火を見ることが出来ます。木の匂いがじんわりとし暖かい火を感じ、身近な環境問題やエネルギー問題を、子供からお年寄りまでいろいろな話ができそうです。

石油を全く使わない生活は難しいですが、少しでも使う量を減らす生活に持っていくことで、地球の温暖化防止に貢献できます。

森のエネルギーを上手に活用し、豊かな森林資源の再生を図ることが出来ます。